

大 使 館 情 報

2023 年 1 月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（2022 年 12 月の出来事）

【内政】

- (1) ボルソナーロ政権支持率
- (2) 「報告官枠の議員割当金」を違憲とする判決
- (3) 「政権移行のための憲法修正案」の成立

【外交】

- (1) ルーラ次期（当時）大統領とスナク英首相との電話会談
- (2) ルーラ次期（当時）大統領とプーチン露大統領との電話会談

3. トピックス

- (1) 「ミナスジェライス州地域警察国際セミナー」への参加（11 月 28 日）
- (2) 令和 4 年度外務大臣表彰式（第 2 回）の開催（12 月 13 日）
- (3) 小渕特派大使のブラジル大統領就任式出席及びブラジル訪問（12 月 29～1 月 2 日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（12月発表の経済指標）

- (ア) 10月の鉱工業生産指数は前月比+0.3%、前年同月比+1.7%となった。
- (イ) 10月の小売売上高は前月比+0.4%、前年同月比+2.7%となった。
- (ウ) 11月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.41%となった（前月：+0.59%）。直近12か月累計は+5.90%となり、前月（同+6.47%）から上昇幅は0.57%ポイント縮小した。
- (エ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、12月30日時点で、GDP成長率予測については、2022年は+3.04%（前週から変わらず）で、2023年は+0.80%（前週から0.01%ポイント上昇）となった。インフレ率については、2022年は5.62%（前週から0.02%ポイント下落）で、2023年は5.31%（前週から0.08%ポイント上昇）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 12月21日、議会においてルーラ政権への移行に関する憲法修正が成立。これにより、2023年に限定して歳出上限が1,450億レアル拡大され、貧困層向け現金給付制度（ボルサファミリア）で月額600レアル、6歳までの子供がいる家庭への同150レアルの支給が可能となった。
- (イ) ルーラ政権においては、経済省を財務省、企画・予算省、開発・産業・貿易・サービス省、行政管理・公共サービス革新省に分割。財務大臣にフェルナンド・アダッジ氏、企画・予算大臣にシモーネ・テベッチ氏、開発・産業・貿易・サービス大臣にジェラルド・アルキミン氏、行政管理・公共サービス革新大臣にエステル・ドゥエッキ氏が指名された。

(3) 金融政策

12月6日及び7日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を13.75%に据え置くことが決定された。次回会合は1月31日及び2月1日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値から算出）

- (ア) 12月の為替市場は5.14～5.34レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.19～5.34レアル/ドルで推移。憲法修正案における歳出上限超過を巡る議論の他、ルーラ新政権における人事や経済政策を巡る動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は5.14～5.32レアル/ドルで推移。憲法修正において歳出上限超過を許容する期間が限定的となったこと等の他、年末のドル需要を背景に上下する展開となった。

(5) 株式市場

- (ア) 12月の株式市場は102,856～111,924ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は103,540～111,924ポイントで推移。経済見通しへの懸念や、ルーラ新政権における人事や経済政策を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は102,856～110,237ポイントで推移。憲法修正において歳出上限超過を許容する期間が限定的になったこと等を材料に概ね上昇となった。

2. ブラジル政治情勢（12月の出来事）

【内政】

(1) ボルソナーロ政権の支持率

12月27日、Datafolha社が公表した12月19日から20日にかけて、2026人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナーロ政権の支持率は39%、不支持率は37%となっている。

(2) 「報告官枠の議員割当金」を違憲とする判決

12月20日、連邦最高裁判所（STF）の大法廷にて、「報告官枠の議員割当金」（通称、秘密予算）を違憲とする判断が下った。これを受け、リラ下院議長及び各党の下院院内総務は、2023年度予算に計上されていた同割当金194億レアルの内、98億レアルは各省庁の予算、残りの96億レアルは議員割当金の増額に割り当てることと一致。これにより、下院議員一人あたりの議員割当金は、当初の1980万レアルから3600万レアルとなる。

(3) 「政権移行のための憲法修正案」の成立

12月21日、次期ルーラ政権への移行に関する憲法修正が成立し、これにより、2023年に限定して、歳出上限を1,450億レアル拡大することが可能となった。2023年予算報告官であるマルセロ・カストロ上院議員（MDB-PI）によると、増額分700億レアルは、貧困層向け給付金（ボルサ・ファミリア）の給付額（月額600レアル）の維持、及び、6歳までの子供のいる家庭への追加給付（150レアル）に充てられ、750億レアルは、低所得者層への医薬品購入支援（ファルマシア・ポプラー）や最低賃金引き上げを含む保健関連政策や台所用ガス購入支援策（アウシリオ・ガス）に充てられる。

同憲法修正案の成立を受け、翌12月22日、上下両院において、2023年度連邦予算が成立した。

【外交】

(1) ルーラ次期（当時）大統領とスナク英首相との電話会談

12月9日、ルーラ次期（当時）大統領は、スナク英首相と電話会談を実施。会談において両者は環境保護や民主主義の強化における協力について意見交換を行った。

(2) ルーラ次期（当時）大統領とプーチン露大統領との電話会談

12月21日、ルーラ次期（当時）大統領は、プーチン露大統領と電話会談を実施。ルーラ次期（当時）大統領のツイッターにて、会談において、プーチン露大統領は、「良い政府となることを望む」と当選の祝意の表明、及び両国の関係強化への関心の表明があったと発表。

3. トピックス

（１）「ミナスジェライス州地域警察国際セミナー」への参加（11月28日）

当館代田文書記官は、ミナスジェライス州ベロオリゾンチ市で開催された、州軍警察主催の「第13回地域警察国際セミナー」に参加した。本セミナーは、伯国内の地域警察（交番）システムの更なる普及・発展のため、SENASP（伯国国家公安局）、JICA、ベロオリゾンチ名誉総領事館の協力の下、2010年から開催されている。

本年は、年間優秀活動賞を受賞し選拔された12名の警察官が11月に訪日し日本警察（警察庁及び千葉県警察）で行った研修成果の発表が行われた。セミナーの様子はオンラインでも配信され、伯国内外で1万人以上が視聴する等、非常に多くの反響があった。



また、同軍警察ロドリゴ・ソウザ・ロドリゲス総司令官より、当館及び代田書記官に対して証書（賞状）が授与された。



（２）令和4年度外務大臣表彰式（第2回）の開催（12月13日）

在ブラジル日本国大使館大使公邸にて令和4年度外務大臣表彰式（第2回）が開催され、受賞者のエジソン・ケンジ・コンドウ氏の栄誉を讃えた。コンドウ氏は世界トップクラスの

シンクタンクであるジェトゥリオ・ヴァルガス財団内におけるブラジル・日本イノベーション・サステナビリティ研究センターの設立にご尽力された。また、日本の大学とジェトゥリオ・ヴァルガス財団との共同研究や連携協力を積極的にコーディネートされ、さらに2019年には、日本の筑波大学、台湾・政治大学及びジェトゥリオ・ヴァルガス財団の3者間の国際共同プロジェクトの実現に向けた意向書への調印においても中心的な役割を果たされました。

表彰式では、林大使による挨拶が行われたあと、コンドウ氏への表彰状および副賞の授与、さらに各受賞者によるスピーチが行われた。式典の後、各受賞者の招待者の皆様と共に受賞者の栄誉を讃え、和やかに懇談を行った。

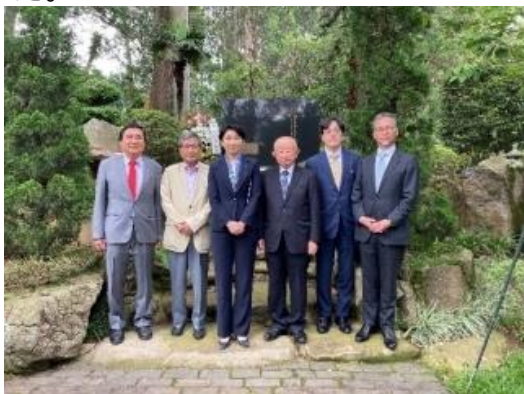


（３）小渕特派大使のブラジル大統領就任式出席及びブラジル訪問（12月29～1月2日）

小渕優子衆議院議員（日・ブラジル国会議員連盟副会長）は、12月29日から1月2日にかけて特派大使としてブラジルを訪問し、ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルバ新大統領（H.E. Mr. Luiz Inácio Lula da Silva, President of the Federative Republic of Brazil）の就任式典に参加したほか、サンパウロ及びクリチバを訪問した。

1. サンパウロ（12月29日、30日）

小渕特派大使は開拓先没者慰霊碑への献花、日本館の視察、群馬県人会会館訪問、ブラジル日本移民史料館の視察等を行った。また、ブラジル日本文化福祉協会（文協）主催歓迎レセプションが開催され、石川文協会長の挨拶に続き、小渕特派大使が様々な団体の関係者を前に挨拶を行った。小渕特派大使は、18年ぶりにブラジルを訪問し、サンパウロの日系社会の方々に再会できて嬉しい旨述べるとともに、ブラジルの日系社会の貢献はブラジルにおける日本に対する信頼の礎となっており、日系社会が日本とブラジルの両国の友好関係の深化に尽力していることについて謝意を述べた。また、小渕特派大使はジャパン・ハウス サンパウロ（JHSP）を訪問するとともに、日系社会と縁の深いサンタクルス日本病院を視察し、関係者と意見交換をしたほか、同病院に派遣されている JICA ボランティアの方々との懇談を行った。





2. クリチバ（12月30日、31日）

小渕特派大使はクリチバ日伯文化援護協会及びパラナ日伯商工会議所を訪問し、各団体の関係者との意見交換を行った。また、クリチバの日系社会関係者と懇談し、日本と日系社会の連携のあり方等について意見交換を行った。

小渕特派大使から、パラナ州の訪問も18年ぶりであり、再び訪問することができ嬉しく思う旨述べ、日系社会側からも小渕特派大使のクリチバ訪問に歓迎と謝意が示された。



3. ブラジリア（12月31日、1月1日、2日）

1月1日、連邦下院議会本会議場でブラジル大統領就任式が行われ、ルーラ大統領が就任演説を行った。小渕特派大使は、フェルナンデス・アルゼンチン大統領やボリッチ・チリ大統領等の中南米各国の首脳や、フェリペ6世スペイン国王やソウザ・ポルトガル大統領、シ

ユタインマイヤー・ドイツ大統領等の他の地域からの代表者をはじめとする各国要人とともに、本就任式に出席した。続いて、大統領府において新大統領挨拶等が行われ、外務省イタマラチ宮において新大統領主催レセプションが開催された。

小渕特派大使は、ヴィエイラ外務大臣と約 30 分間会談した。小渕特派大使からは、ルーラ大統領及びヴィエイラ外相の就任に祝意を表しつつ、岸田文雄内閣総理大臣からルーラ大統領への祝意を伝達する親書を手交した。また、小渕特派大使から、エネルギー・食糧危機をはじめ現下の国際社会が直面する課題に言及しつつ、ブラジルは民主主義、自由、法の支配等の基本的価値を共有する「戦略的グローバル・パートナー」であり、日本として新政権とも、経済面や国際的な課題への対応において協力を更に強化していきたい旨述べた。ヴィエイラ外務大臣からは、小渕特派大使のブラジル訪問を歓迎するとともに、貿易、投資、科学技術や国際的な課題への対応における日本との協力への期待が述べられ、新政権としても、今月予定されている林外務大臣のブラジル訪問や、議員交流の促進を含め、日本との関係を強化していきたい旨発言があった。

その他、小渕特派大使は、ブラジル日本議員連盟議員や日系団体関係者とも懇談を行い、日本と日系社会の連携強化及び交流の拡大や日系社会において次世代を担う若者や女性の更なる活躍等について意見交換を行った。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在ベレン領事事務所 : [facebook](#)
在マナウス総領事館 : [facebook](#)
在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)
在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)
在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)
在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和4年度第2四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開しています。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報・感染症危険情報

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

●危険情報

最新更新日：2022年4月5日

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市

- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

●感染症危険情報

最新更新日：2022 年 10 月 19 日

感染症危険情報レベルを更新し、全世界を一律レベル 1（十分注意してください）に見直しました。

（イ）安全対策基礎データ

最新更新日：2022 年 8 月 1 日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え
査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

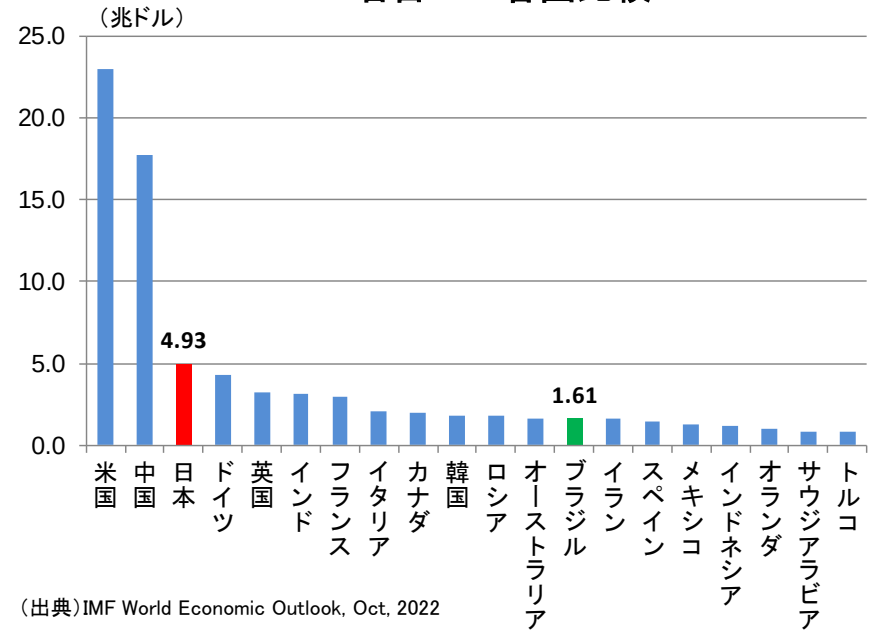
（ウ）テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022 年 8 月 2 日

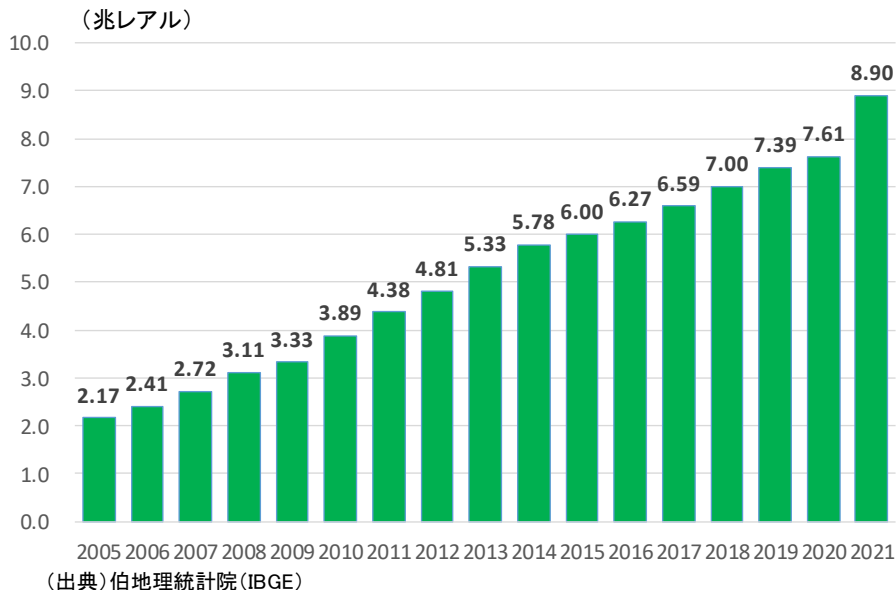
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

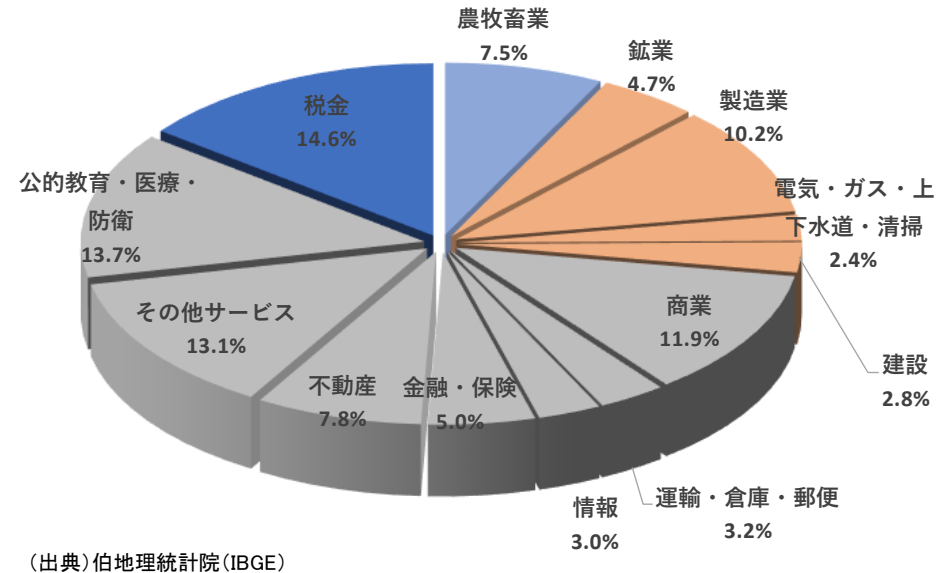
名目GDP各国比較



名目GDPの推移



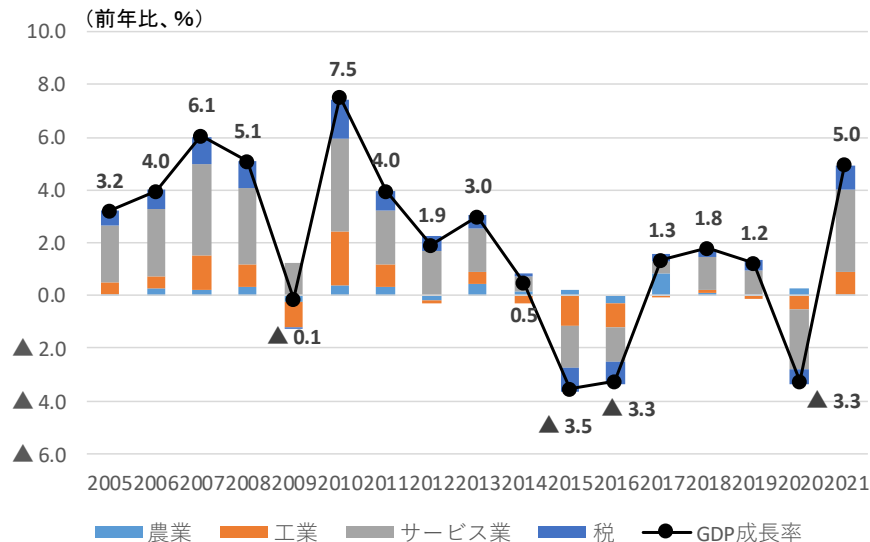
名目GDPの産業別構成比(2021年)



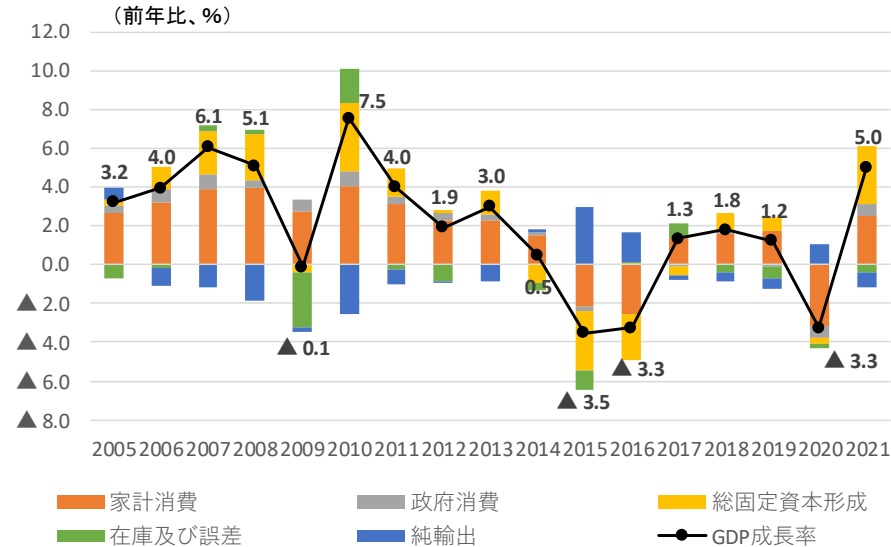
II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が2022年12月に発表した2022年第3四半期の実質GDP成長率は、前期比+0.4%(5四半期連続のプラス)、前年同期比+3.6%(7四半期連続のプラス)となった。

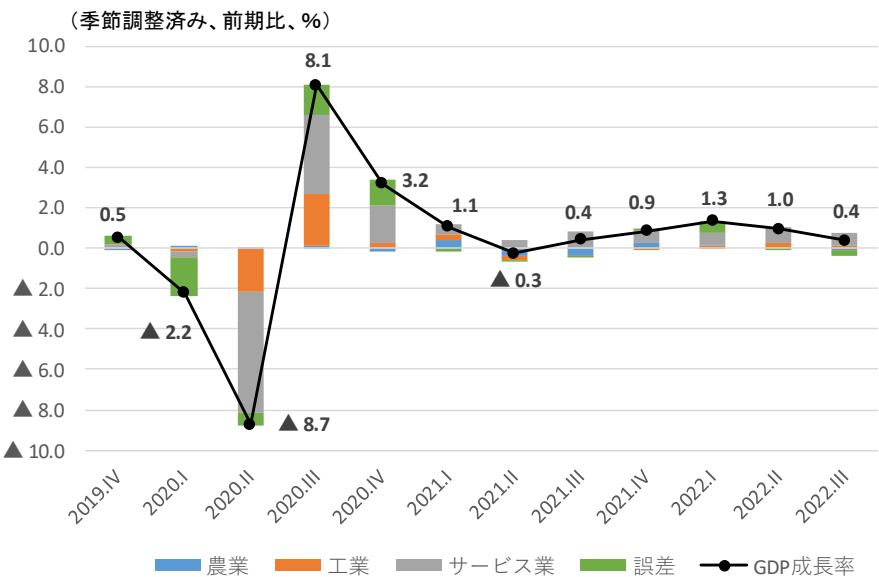
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)



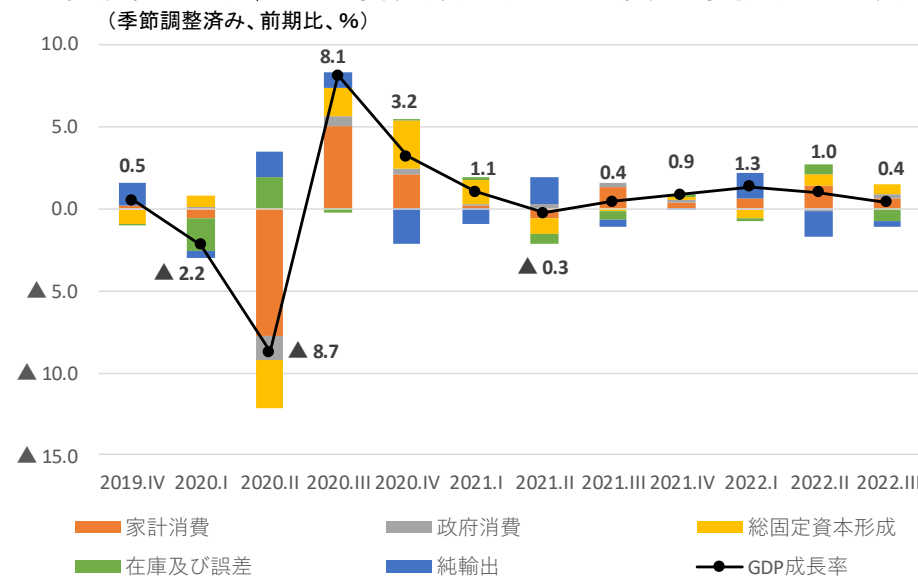
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

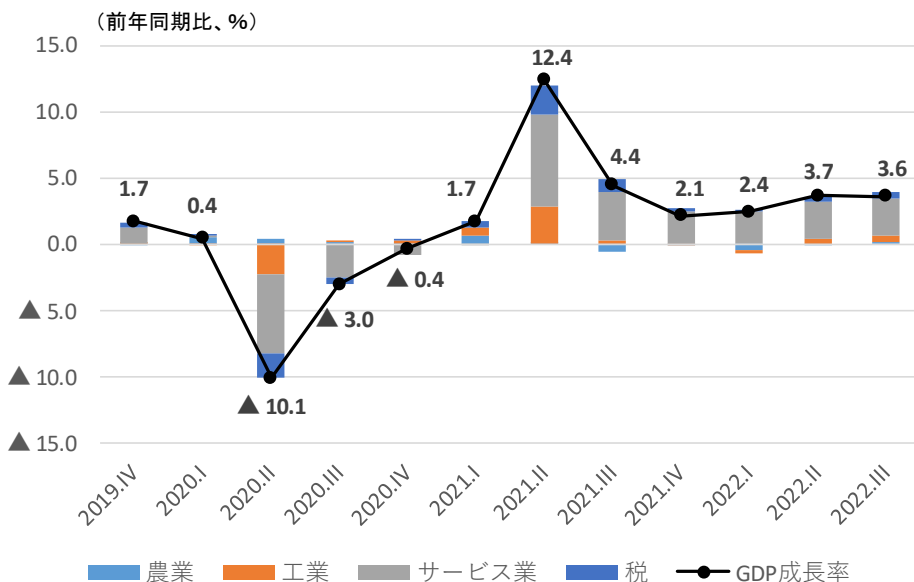


実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

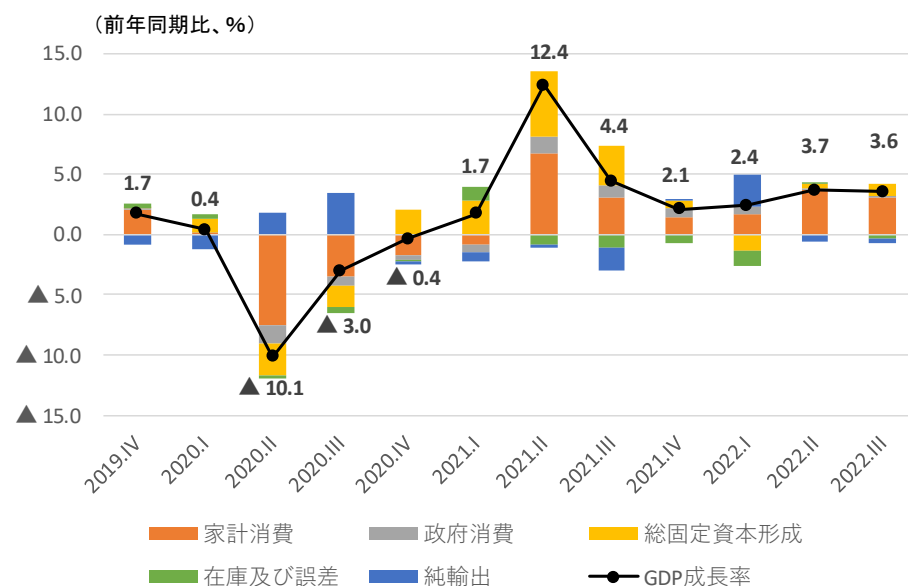


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院(IBGE) 2

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

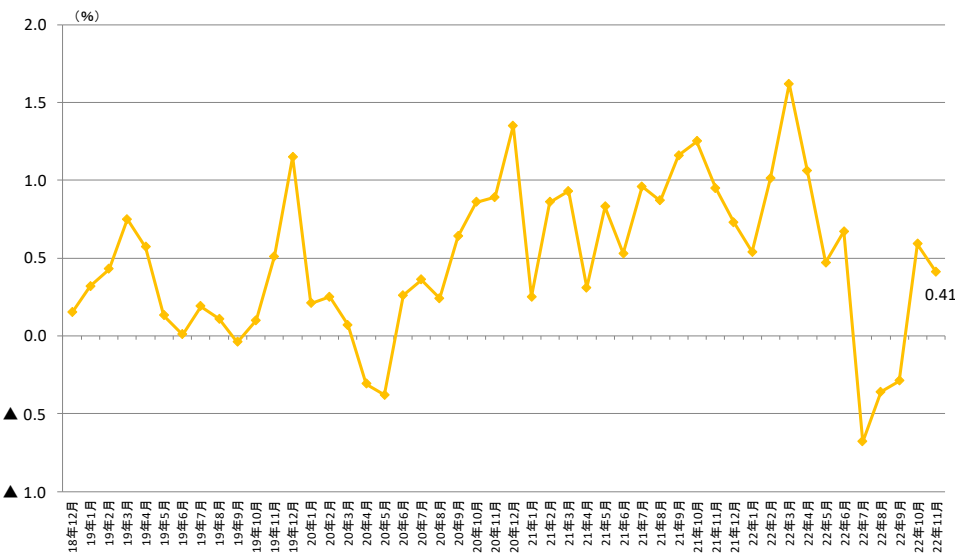
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2022	2023
IMF (2022年10月)	+2.8%	+1.0%
伯経済省 (2022年11月)	+2.7%	2.1%
伯中銀 (2022年12月)	+2.9%	+1.0%
伯中銀Focus (2022年12月30日)	+3.04%	+0.80%

物価の動向

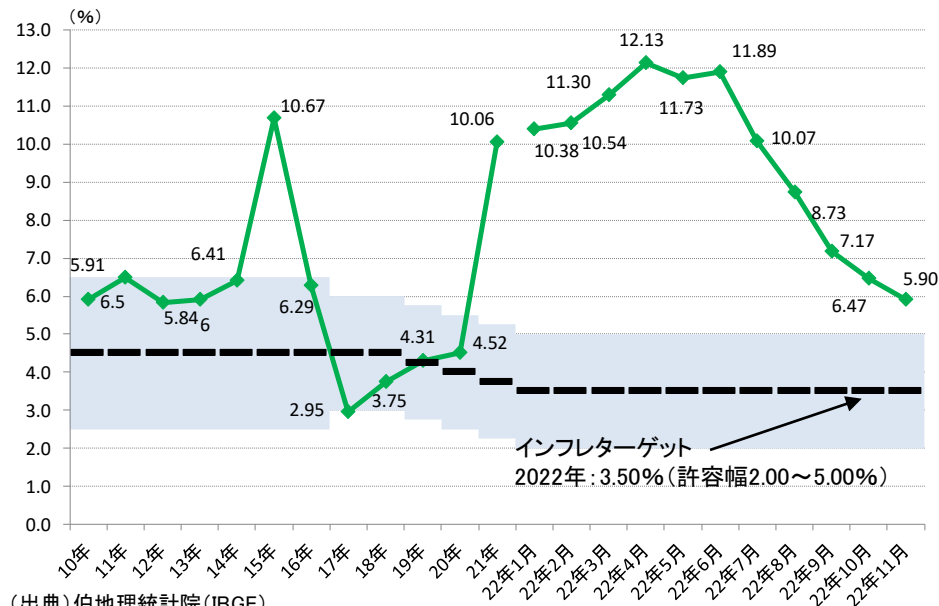
11月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.41%、直近12か月累計では5.90%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



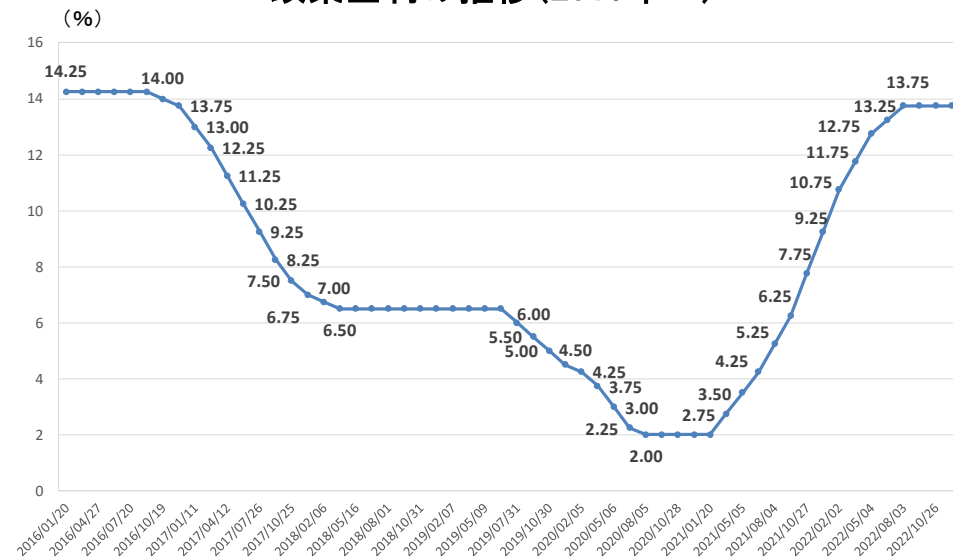
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利の推移(2016年～)



(出典) 伯中央銀行

政策金利

12月6日及び7日に開催された伯中央銀行金融政策委員会(Copom)において、政策金利であるSelic金利を13.75%に据え置くことが決定された。次回会合は1月31日及び2月1日に開催予定。

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

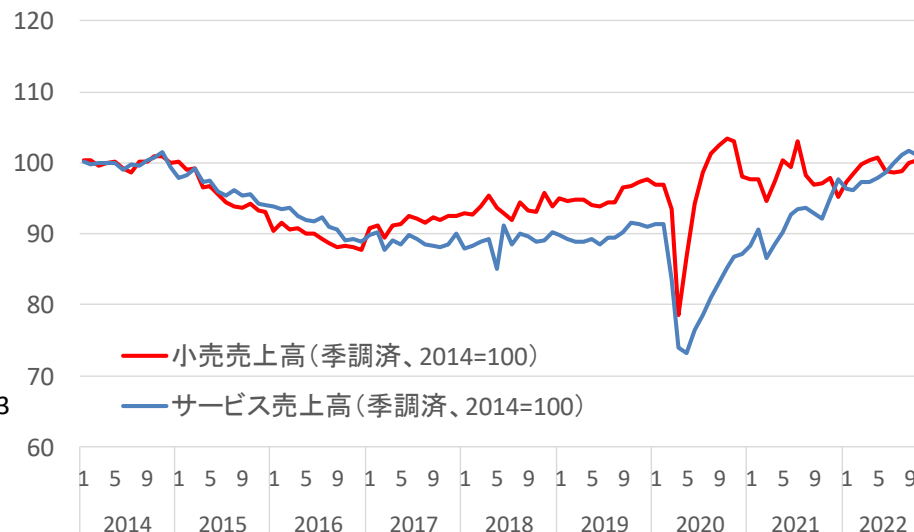
失業率(2022年8～10月))は8.3%となった。(※2022年12月に公表なし)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(10月)は前月比+0.4%、前年同月比+2.7%となった。サービス売上高(10月)は前月比▲0.6%、前年同月比+9.5%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

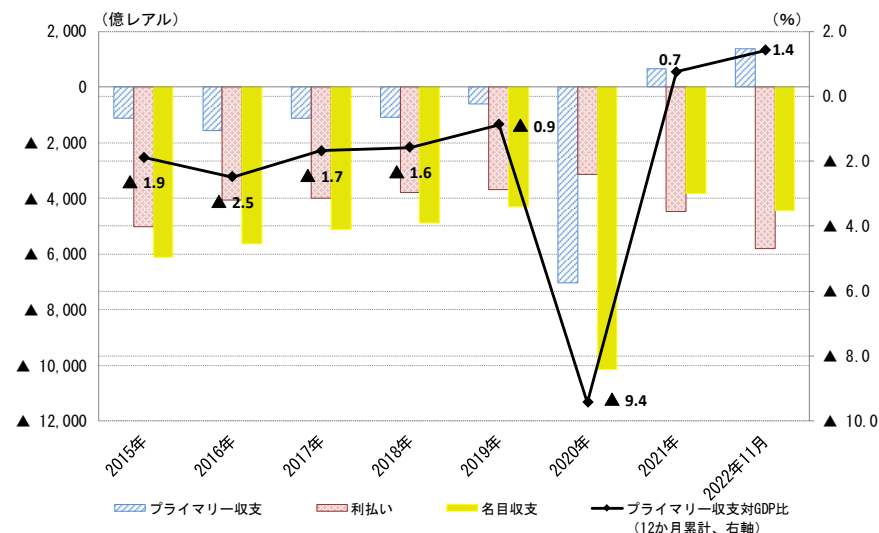
鉱工業生産(10月)は前月比+0.3%、前年同月比+1.7%となった。
(2012年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門の2022年11月のプライマリーバランスは1,379億レアルの黒字、利払いは▲5,818億レアル、名目収支は▲4,439億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

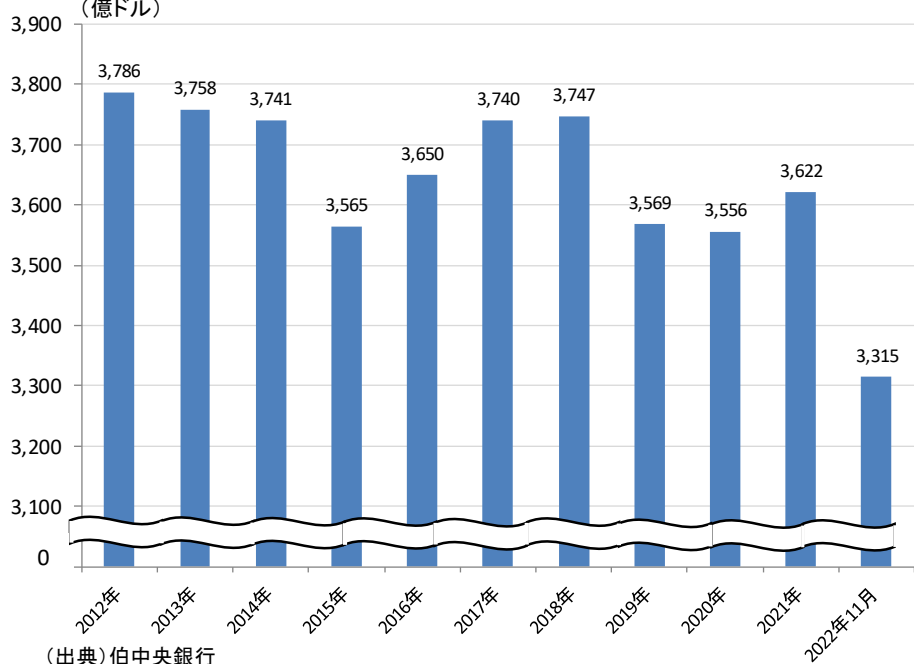
国際収支の動向

国際収支

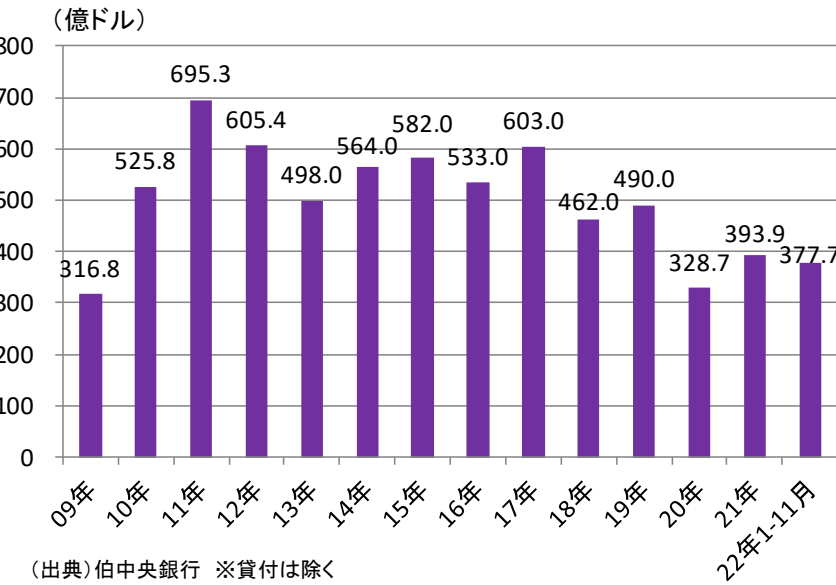
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 11月
経常収支	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 464	▲ 446
貿易収支	573	434	265	324	364	418
サービス収支	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 270	▲ 353
第1次所得収支	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 590	▲ 546
第2次所得収支	21	▲ 0	12	23	32	36
資本移転収支	4	4	4	41	2	2
金融収支	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 502	▲ 480
直接投資	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 302	▲ 584
対外直接投資	213	20	228	▲ 35	162	239
対内直接投資	689	782	692	378	464	823
証券投資	177	69	192	129	▲ 79	36
金融派生商品	7	28	17	54	▲ 10	▲ 21
その他投資	69	113	▲ 128	247	▲ 251	82

(出典) 伯中央銀行

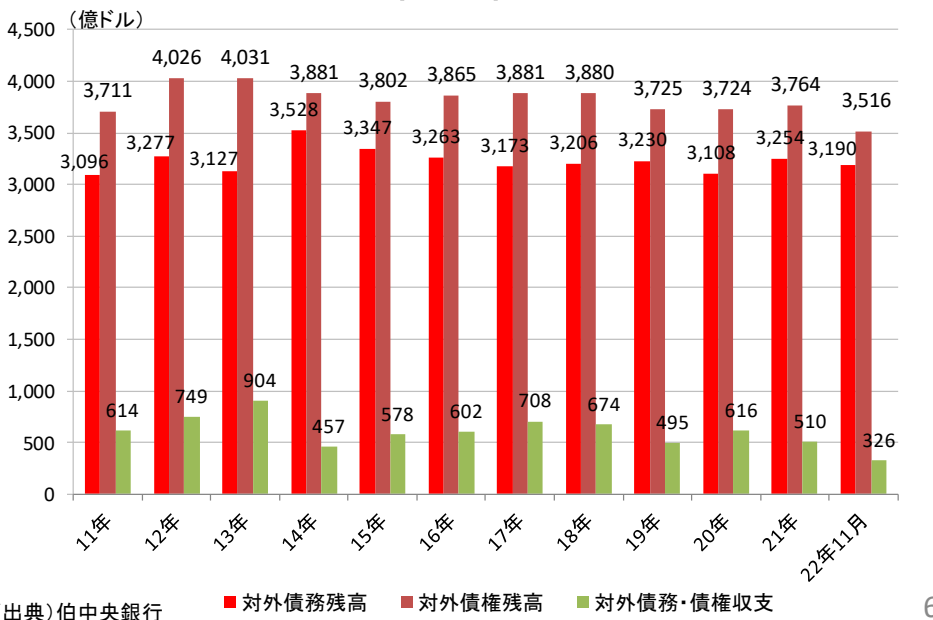
外貨準備高



外国直接投資(資本参加分)流入額



対外債務・債権収支



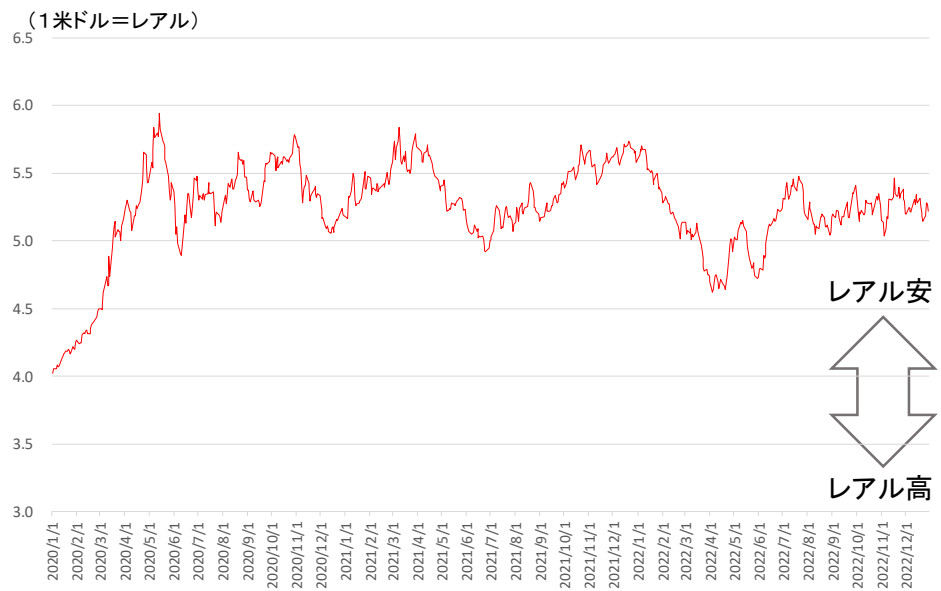
為替・株価の推移

12月の為替市場は5.14～5.34レアル/ドルで推移。

月の前半は5.19～5.34レアル/ドルで推移。憲法修正案における歳出上限超過を巡る議論の他、ルーラ新政権における人事や経済政策を巡る動向等を材料に上下し概ね下落傾向で推移した。

月の後半は5.14～5.32レアル/ドルで推移。憲法修正において歳出上限超過を許容する期間が限定的となったこと等の他、年末のドル需要を背景に上下する展開となった。

為替の推移(対米ドル)



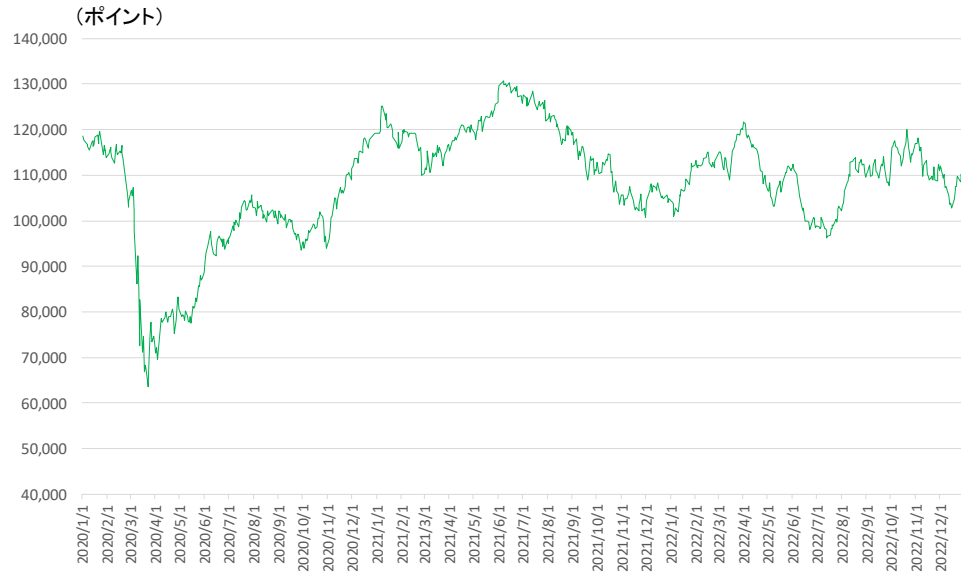
(出典) 伯中央銀行

12月の株式市場は102,856～111,924ポイントで推移。

月の前半は103,540～111,924ポイントで推移。経済見通しへの懸念や、ルーラ新政権における人事や経済政策を巡る動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

月の後半は102,856～110,237ポイントで推移。憲法修正において歳出上限超過を許容する期間が限定的になったこと等を材料に概ね上昇となった。

株価指数(Ibovespa)の推移

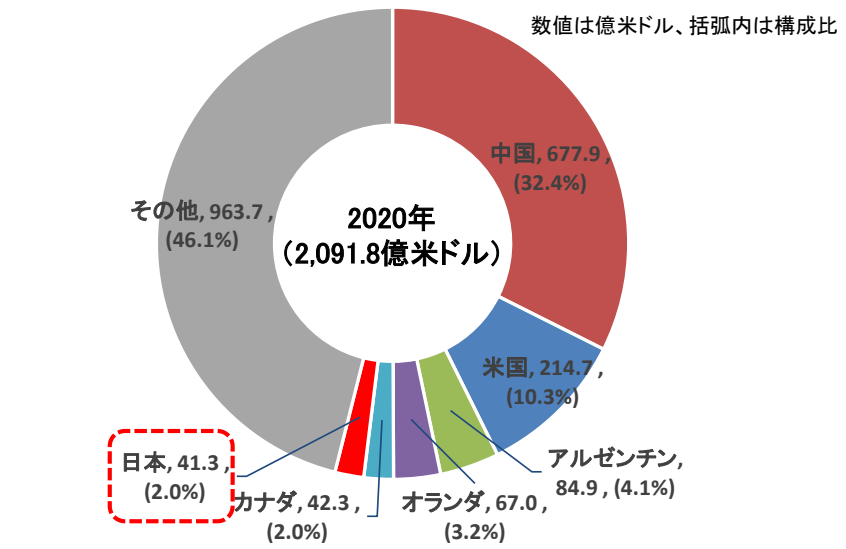


(出典) B3

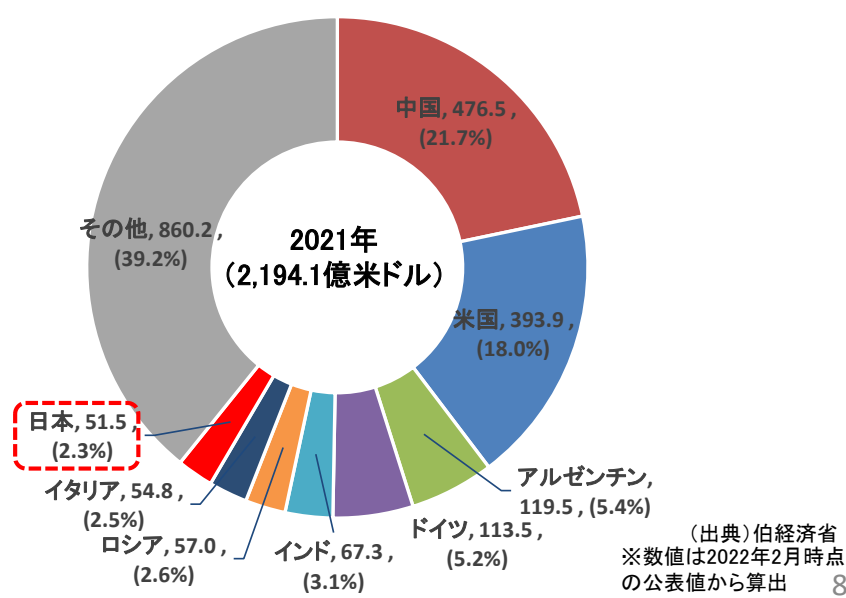
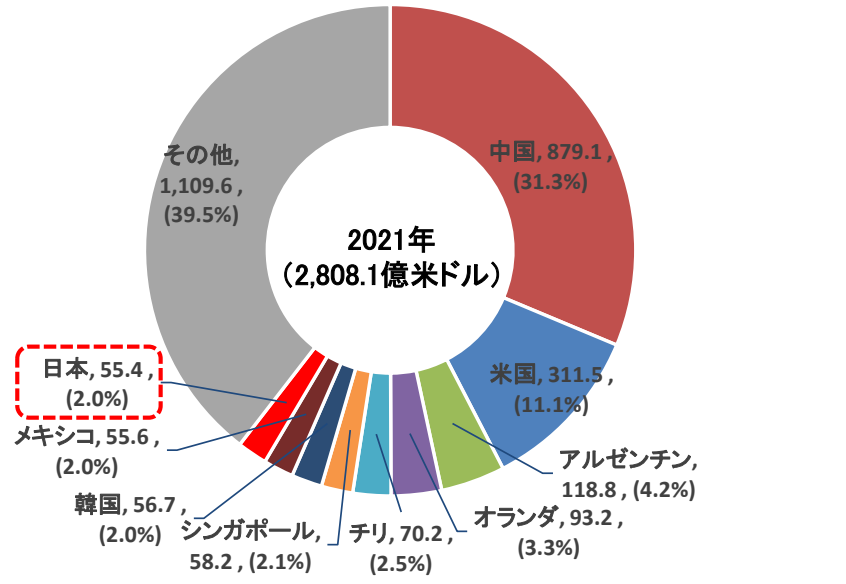
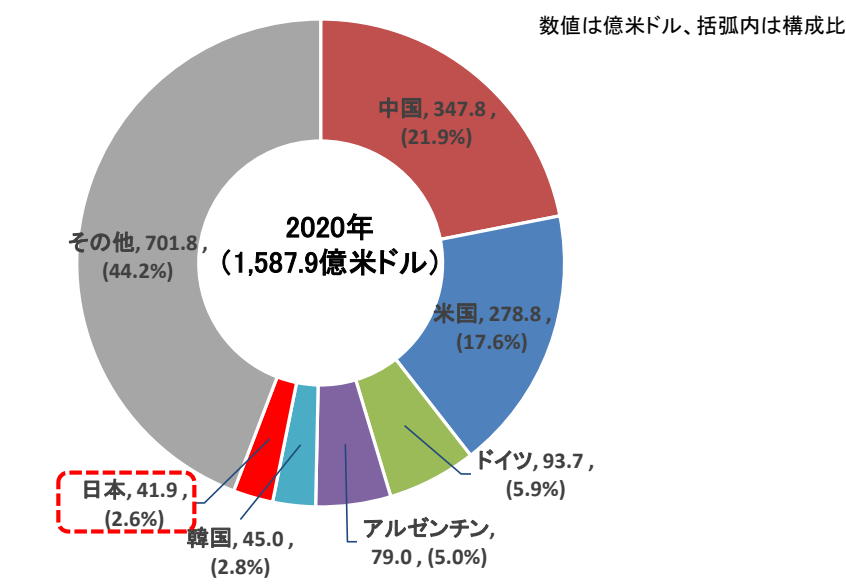
III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2021年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で8位となっている。

輸出額と構成比(国別)



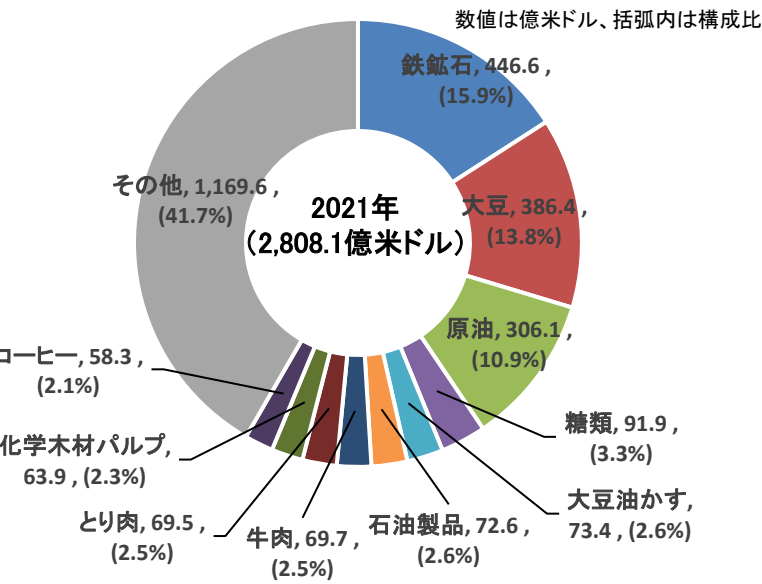
輸入額と構成比(国別)



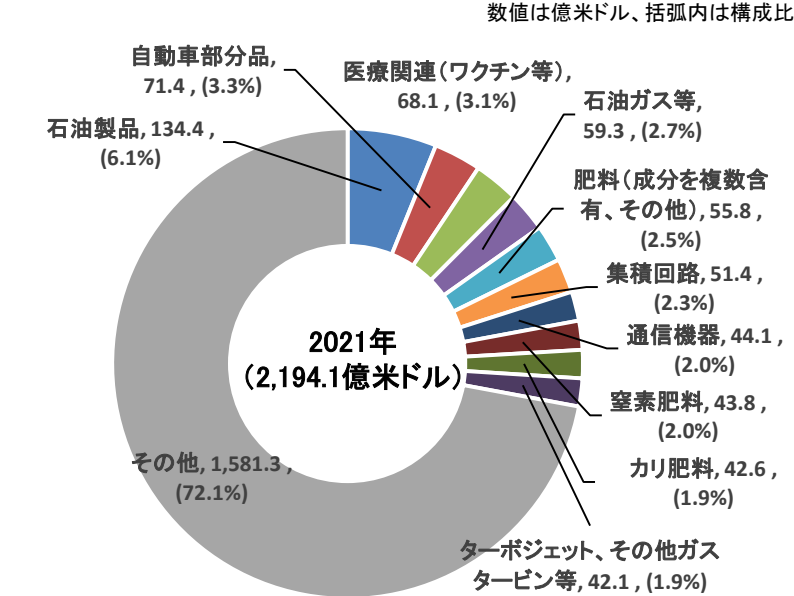
(出典) 伯経済省
※数値は2022年2月時点
の公表値から算出

主要輸出品目は資源(鉄鋼石、原油等)、食品(大豆、肉類、糖類等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【鉄鋼石】

	億米ドル	構成比(%)
全 体	446.6	100.0
① 中国	288.4	64.6
② マレーシア	28.6	6.4
③ バレーン	17.9	4.0
④ 日本	17.9	4.0
⑤ オマーン	13.0	2.9

【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全 体	386.4	100.0
① 中国	272.1	70.4
② スペイン	16.7	4.3
③ タイ	12.9	3.3
④ オランダ	12.0	3.1
⑤ トルコ	10.1	2.6

【原油】

	億米ドル	構成比(%)
全 体	306.1	100.0
① 中国	142.5	46.6
② 米国	30.8	10.1
③ インド	22.4	7.3
④ チリ	19.6	6.4
⑤ ポルトガル	16.3	5.3

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
全 体	91.9	100.0
① 中国	14.1	15.4
② アルジェリア	7.8	8.4
③ ナイジェリア	6.0	6.5
④ バングラデシュ	5.8	6.3
⑤ カナダ	4.4	4.8

【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合 計	134.4	100.0
① 米国	74.4	55.4
② インド	13.5	10.1
③ UAE	7.3	5.4
④ オランダ	6.4	4.7
⑤ スペイン	4.5	3.4

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
合 計	71.4	100.0
① 日本	9.3	13.1
② 中国	8.8	12.3
③ ドイツ	8.5	11.8
④ メキシコ	6.3	8.8
⑤ 米国	5.8	8.1

医療用品(ワクチン等)

	億米ドル	構成比(%)
合 計	68.1	100.0
① 米国	23.7	34.9
② 中国	12.9	19.0
③ ベルギー	7.8	11.4
④ スイス	5.3	7.8
⑤ ドイツ	4.1	6.0

【石油ガス等】

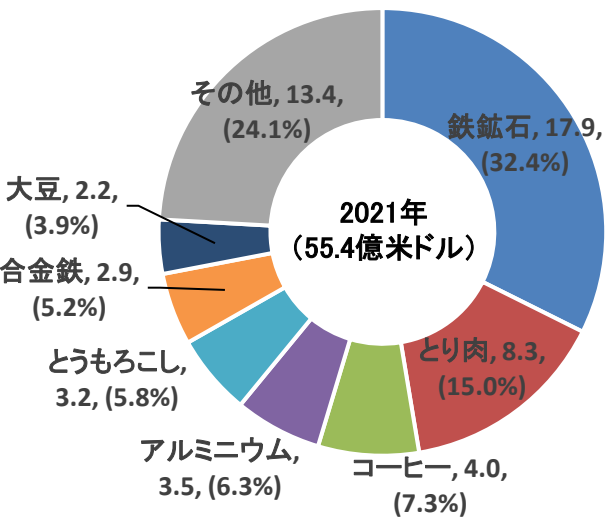
	億米ドル	構成比(%)
合 計	59.3	100.0
① 米国	41.8	70.5
② ボリビア	12.1	20.3
③ アルゼンチン	2.8	4.7
④ トリニダードトバゴ	1.5	2.5
⑤ アンゴラ	0.5	0.8

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（肉類、コーヒー、トウモロコシ、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

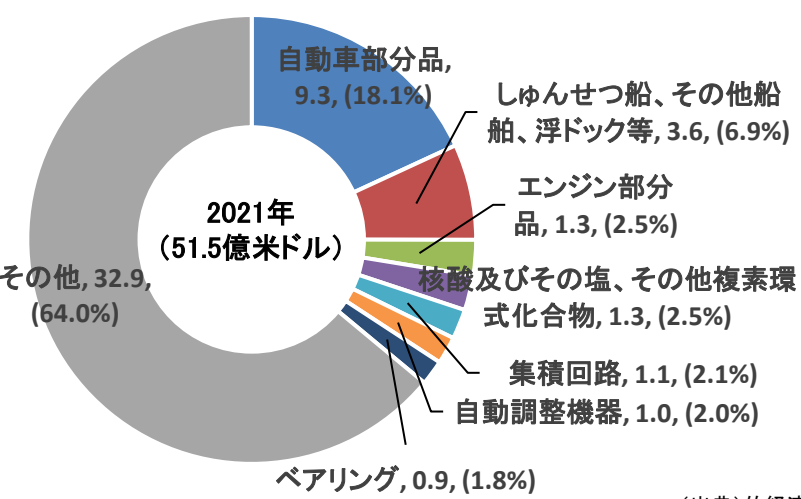
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

※数値は2022年2月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2021年)

【鉄鉱石】				【とり肉】				【コーヒー】				【アルミニウム】			
		億円	構成比 (%)			億円	構成比 (%)			億円	構成比 (%)			億円	構成比 (%)
総計		19,656.0	100.0	総計		1,365.9	100.0	総計		1,447.3	100.0	総計		6,836.6	100.0
①	オーストラリア	10,854.7	55.2	①	<u>ブラジル</u>	889.5	65.1	①	<u>ブラジル</u>	446.9	30.9	①	ロシア	1,357.5	19.9
②	<u>ブラジル</u>	5,592.5	28.5	②	タイ	407.9	29.9	②	コロンビア	228.8	15.8	②	オーストラリア	1,120.3	16.4
③	カナダ	1,385.4	7.0	③	アメリカ合衆国	32.6	2.4	③	ベトナム	200.7	13.9	③	アラブ首長国連邦	1,088.7	15.9
④	南アフリカ共和国	715.1	3.6	④	ハンガリー	15.9	1.2	④	グアテマラ	101.1	7.0	④	ニュージーランド	425.2	6.2
⑤	アメリカ合衆国	275.9	1.4	⑤	フランス	10.6	0.8	⑤	エチオピア	79.3	5.5	⑤	<u>ブラジル</u>	382.8	5.6

【とうもろこし】				【合金鉄】				【大豆】			
		億円	構成比 (%)			億円	構成比 (%)			億円	構成比 (%)
総計		5,199.6	100.0	総計		3,134.2	100.0	総計		2,276.9	100.0
①	アメリカ合衆国	3,779.6	72.7	①	カザフスタン	657.4	21.0	①	アメリカ合衆国	1,702.9	74.8
②	<u>ブラジル</u>	738.9	14.2	②	中華人民共和国	453.4	14.5	②	<u>ブラジル</u>	320.2	14.1
③	アルゼンチン	416.2	8.0	③	ロシア	396.0	12.6	③	カナダ	226.0	9.9
④	南アフリカ共和国	242.6	4.7	④	<u>ブラジル</u>	339.6	10.8	④	中華人民共和国	26.2	1.1
⑤	フランス	8.8	0.2	⑤	南アフリカ共和国	307.7	9.8	⑤	ロシア	1.5	0.1

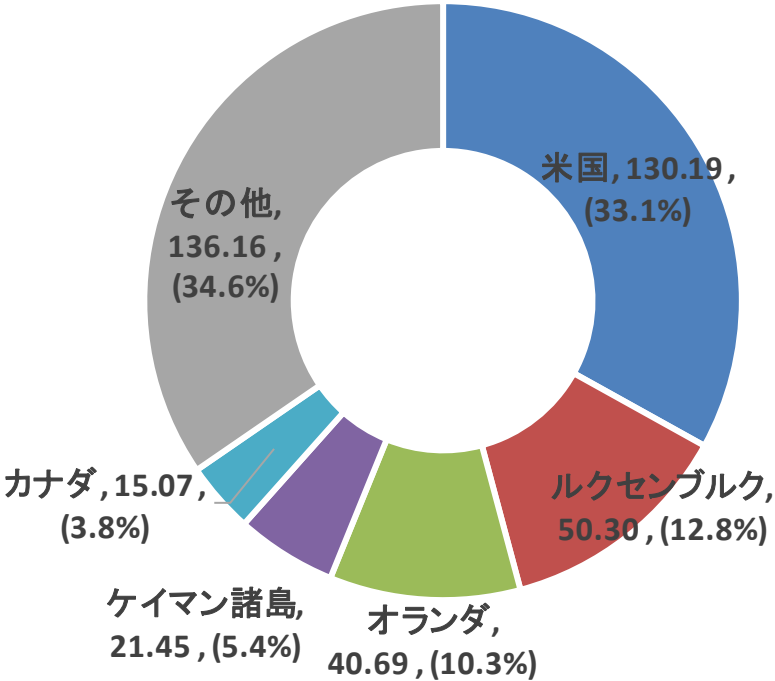
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄（フェオアロイ）7202、大豆1201

(出典) 財務省(日本)
※数値は2022年1月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額393.86億ドル(2021年)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



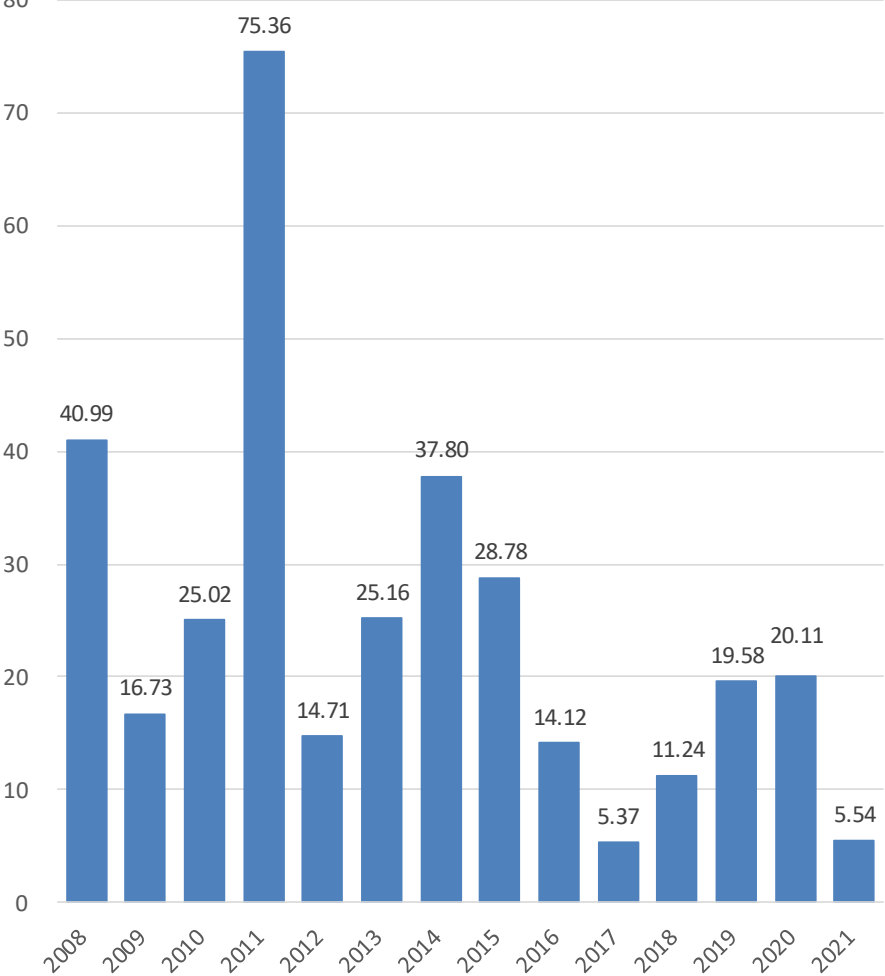
(出典) 伯中央銀行

2021年の日本の直接投資額(資本参加分)は5.54億ドルで構成比は1.41%と、17番目の規模。

※ 中国: 2.35億ドル(0.44%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行